

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	2年 英語活動（7月） Unit 9 2h/3h扱
③言語活動の充実を目指した授業づくり	高知県南国市立日章小学校 英語担当 松岡 美帆

2年 「英語活動」と「算数科」をつなぐ

英語活動 “What time is it?”



「おきる時こくは何時？」
「ねる時こくは何時？」



同じ掲示物（図、数直線）
で視覚支援

算数科 『時計を生活に生かそう』



Good morning♪
What time is it?

Let's sing a song



♡時刻を

歌や体で表現しよう♡

おきた時こくに時計をあわせる。



It's six o'clock.

Me too!

ぼくと、おきる時こくがい
っしょや！
なんとなくうれしい♪



算数科の「時刻や時間の求め方」の学習を英語活動に取り入れ、教材化しました。算数科と同じ提示物（絵、時刻を表した数直線、時計の教具）や時計の模型を使うことで視覚支援ができ、子どもたちは“What time is it?” “It's ~(o'clock).”（時刻の尋ね方や答え方）や「午前(a.m.)」と「午後(p.m.)」, 「あいさつ“Good morning./Good afternoon./Hello./Good night.”」等を理解し、言葉にすることができました。算数科で学習した内容を英語活動に取り入れたことで、子どもたちは場面や状況をイメージしやすくなりました。時計の見方の復習にもなったようです。

また、「起きた時刻が同じ友だちを見つけよう」等の声かけをしたことで、子どもたちの学習意欲の持続へとつながりました。自分の日常生活を伝え合うので、友達の生活に対して、「めっちゃ早く起きちゃう！すごいね！」「え～！それじゃ遅刻するで。もっと早く起きや」などの自然な反応があり、友達と笑顔を交わしながら英語に慣れ親しむ姿が見られました。英語で学ぶ表現を他教科等での学習内容とリンクさせることによって、より深い学びが実現できると考えます。同じ資料を使って、板書をする事で視覚効果も高まります。

他教科等で学んだことを英語にリンクさせたり、英語での学びを他教科等に生かしたりすることができるようカリキュラムの編成に努めています。



指導助言・アドバイスコーナー

学習指導要領において「言語活動で扱う題材は、児童の興味・関心に合ったものとし、国語科や音楽科、図画工作科など、他教科等で児童が学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすること。」と記され、外国語活動や外国語で扱う題材について言及しています。本実践のように、他教科等と関連した内容や活動を外国語教育(本実践では、低学年対象のため「英語活動」としていると思われる)で扱うことは、子供にとっても負担感も少なく、何より子供の興味・関心にありやすい。ほとんどの教科等をしている学級担任ならではの実践だと思います。(文部科学省 視学官 直山木綿子)